

人はミスするものだから仕方がない
 ことはない!!

10,000件超の事例から導き出された
 26の要因と20の対策でポカミスを実際にゼロにする

シンプル！スピーディー！ 「ポカミスゼロ」への具体的なアプローチ

— AIを活用し「検査ミス、入力ミス、判断ミス」をゼロにする試みも紹介！ —

日時 2018年 **11月6日(火)** 10:00~17:00
 (9:30 受付開始、休憩 12:30~13:30)

主催  日刊工業新聞社

会場 日刊工業新聞社 大阪支社 セミナー会場
 (大阪市中央区北浜東 2-16)

受講料 **43,200円** (資料含む、消費税込)
 *同時複数人数お申し込みの場合2人目から38,880円

大阪会場(日刊工業新聞社 大阪支社10階)
 大阪市中央区北浜東2-16 TEL: 06(6946)3382

*天満橋駅(京阪電車、地下鉄谷町線)下車徒歩3分
 ■新大阪駅から地下鉄御堂筋線(新大阪→淀屋橋)北側出口 乗換、
 京阪電車(淀屋橋→天満橋)西改札口
 ■大阪駅から地下鉄谷町線(東梅田→天満橋)北側2番出口



日刊工業新聞社 大阪支社 セミナー会場

〒540-0031 大阪市中央区北浜東2-16
 ※会場には受講者用の駐車場がありません。必ず最寄りの公共交通機関でご来場ください。
 ※講義の録音・録画は固くお断りいたします。

●申込方法

申込書を郵送又はFAXにて下記にお申し込みください。ホームページからもお申し込み
 できます。(http://corp.nikkan.co.jp/seminars/) 受講料は銀行振込で受講票及び
 請求書が到着次第、開催日1週間前までにお支払いください。
 なお、キャンセルにつきましては開催日1週間前までの受付とさせていただきます。1週間
 前までにご連絡がない場合はご欠席の方もキャンセル料として受講料全額を頂きます。
 振込手数料は貴社でご負担願います。

口座名義	りそな銀行	東京営業部	当座	656007
㈱日刊工業新聞社	三井住友銀行	神田支店	当座	1023771
	みずほ銀行	九段支店	当座	21049
	三菱UFJ銀行	神保町支店	当座	9000445

●申込先 日刊工業新聞社 業務局 イベント事業部 技術セミナー係

〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14-1 (住生日本橋小網町ビル)
 TEL 03 (5644) 7222 FAX 03 (5644) 7215
 e-mail: j-seminar@media.nikkan.co.jp

受講申込書		11/6 ポカミスゼロ		お申し込みは FAX 03-5644-7215	
■受講料: 43,200円 (資料含む、消費税込) *同時複数人数お申し込みの場合2人目から38,880円		※振込手数料は貴社にてご負担ください。			
会社名	フリガナ	業種			
氏名	フリガナ	TEL			
	部署・役職	FAX			
所在地	〒				
	E-mail:	※今後、E-mailによるご案内を希望しない方は チェックをしてください。 <input type="checkbox"/>			

※お申込み受付後、受講票ならびに請求書をお送りいたします。

No.182114

個人情報の取り扱いについて

ご登録いただいた情報は日刊工業新聞社が細心の注意を払い、展示会・セミナー・サービス等、各種ご案内を送らせていただくことを目的に利用させていただきます。
 なお、宛先変更・配信停止をご希望の際は右記までご連絡ください。【ご連絡先】日刊工業サービスセンター 情報事業部 nkmail01@nikkansc.co.jp

開催主旨

人はミスをするもの。だからポカミスはなくなる。と思いませんか？

ポカミスの26の要因を知り、15の対策を実施することでポカミスはゼロになります。

本セミナーでは、講師が実際のコンサルティングで解決した1万件を超える成功事例、失敗事例から見つけ出した法則性をポカミスの要因として定義し、それに対応する対策をご紹介します。

また、従来の人肉体労働に対するIE的対策の限界をぶち破るため、人の精神面への対策として「思いやり改善」と「モラルアップ」を、頭脳面への改善として「AI(人工知能)」を加え徹底的にポカミスをゼロにします。

そして最終的には監督者、作業者が求める理想の職場をつくり上げます。

本セミナーにより、ぜひポカミスゼロの理想現場を実現して下さい。



進呈! (講師著書)

講師

株式会社ロンド・アプリウェアサービス **中崎 勝氏**

【略歴】 1981年、ブリヂストンに入社。設備設計と保全業務に従事。1987年に日本DECに移籍し、システム及びAIの開発に従事。1992年、ロンド・アプリウェアサービスを設立し、製造業を中心としたコンサルティングで多くの成果を上げる。不良ゼロを可能にする実践アプローチにもとづく指導方法に定評があり、国内メーカーに加え、海外メーカーなどでも大きな改善効果を上げている。また、技術セミナーも幅広く実施しており、具体的な要因分析にもとづき、かつ具体例を提示するプログラムで好評を得ている。

プログラム

1. ポカミスゼロへのアプローチ

- 1-1 基本的な考え方
 - ・ポカミスの特徴となくなる理由
 - ・26の要因
 - ・15の対策
 - ・ポカミスゼロへのアプローチ
- 1-2 具体的な進め方
 - ステップ-1：ポカミス教育
 - ステップ-2：整理・整頓の意味
 - ステップ-3：標準整備とビデオ標準
 - ステップ-4：新たな教育・訓練のしくみ
 - ステップ-5：NG/OKシートで80%初期ポカミスをなくす
 - ステップ-6：作業者思いのうっかり対策
 - ステップ-7：AIの活用により検査ミス、入力ミス、判断ミスをなくす
- 1-3 ポカミスゼロで理想の職場を実現

2. 実践2Sへのアプローチ

- 2-1 2Sでポカミスの遠因を対策する
- 2-2 更地化：短時間効果的実践法
- 2-3 変化に対応できるしくみづくり

3. 標準整備へのアプローチ

- 3-1 標準の実態
- 3-2 標準を改善する
- 3-3 標準整備の7ステップ

4. ビデオ標準作成へのアプローチ

- 4-1 教育・訓練の実態
 - 新たな教育・訓練のしくみづくり
- 4-2 ビデオ標準で標準遵守、多能工化、技能伝承をスピーディーかつ確実に
- 4-3 ビデオ標準作成の7つのポイント
- 4-4 ビデオ標準教育・訓練運用ポイント

5. モラルアップへのアプローチ

- 5-1 モラルとは
 - 実態：日本人は低いという事実
- 5-2 モラルアップの5原則
 - モラルを上げるには（動機付け）
- 5-3 やる気にさせる8つの施策
- 5-4 尊敬される上司になる
- 5-5 人は環境の生き物